

— 歴史博物館 昔あそび —

・毎月第1日曜日 歴史博物館 紙芝居劇場

昔懐かしい自転車紙芝居です！いろいろな紙芝居を見ることができます。1日2回。
公演終了後にはカタヌキのおまけもあります。
各回が始まる前30分間(①13:00～ ②14:00～)に昔のおもちゃで遊べる時間を設けています。
けん玉や丸とばして遊んでから紙芝居をお楽しみください。

場 所：歴史博物館 1階(12月、1月は2階展示室)
時 間：①13:30～ ②14:30～ (各回30分程度)

・毎月第3日曜日 火打ち石体験
お手玉あそび

火打ち石と火打ち金を使った火おこし体験です！
ろうそくに火をつけられるかな？その他に、お手玉あそびもやっています。お手玉のいろいろな技を磨いてみよう！

・毎月第2土曜日 紋切りあそび
折り紙の金魚つり

型紙に折り紙をあてて切り抜くと、素敵な紋様ができます。
できた紋様をファイルに貼ってお持ち帰ります。
きます♪折り紙の金魚つりあそびもやっています。金魚以外の魚も…？

・毎月第4土曜日 紋切りあそび

紙芝居劇場以外の昔のあそび体験については
下記の場所と時間で実施いたします。

場 所：歴史博物館 1階 時 間：13:00～15:00

※都合により予告なく内容が変更・中止になる
場合がございます。予めご了承ください。

収蔵整理事業成果報告展
「見つめなおす、市川の宝もの」
会期、残りわずか…！

国学院大学観光まちづくり学部を中心とした
学生さんに今年4～8月に協力いただいた
当館収蔵庫整理の報告展です。作業写真
や、改めて資料からわかったことなどを、塩場ザル
(行徳の製塩道具)を例に紹介します。
なお、この展示も学生さんと協力して制作しました。
12月27日まで。



… 館務実習展 開催中！ ……………

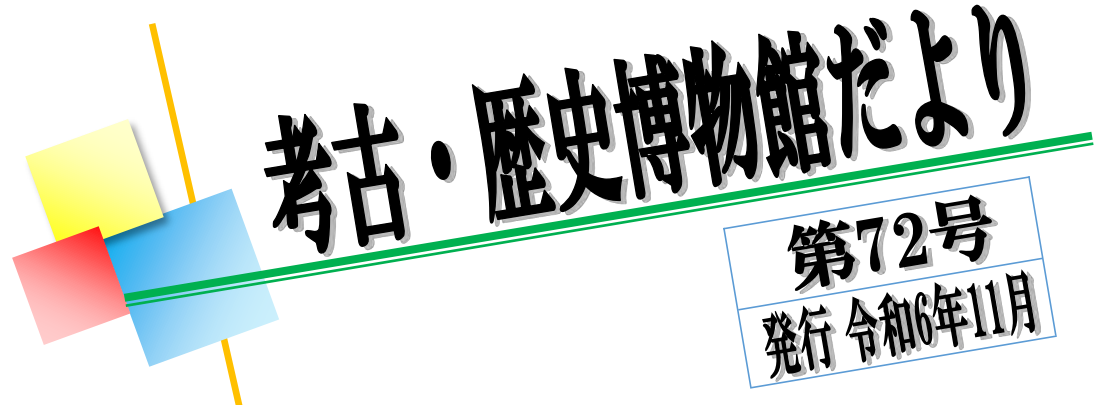
今年度も、考古・歴史博物館両館で学芸員資格の取得を目指す学生による館務実習が行われました。考古博は「千葉県指定有形文化財登録記念 鬼高遺跡の宝もの」、歴博は「むかしの君たち」というタイトルでそれぞれ展示しています。実習では、資料整理や博物館の役割、施設の管理・運営などについて学び、実際に展示の作成を行います。
限られた文字数でわかりやすく資料の解説をするキャプション作りや、資料を並べる際にどの展示台を使うか、展示台に掛ける布の色はどうかなどを考えながら展示の準備を進めました。ぜひこの機会にご覧いただければと思います。



ご利用案内
【時間】 9:00～16:30
【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌日)
【入館】 無料、補助犬同伴可
車いす各館1台あり

【駐車場】 一般車30台
お体の不自由な方等の車両 各館1台あり
大型バスの利用不可

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、博物館および駐車場の利用時間が変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。



学校連携学習資料展
「発見・体験 昔の暮らし」開催中！

毎年歴史博物館で開催している学校連携学習資料展「発見・体験 昔の暮らし」が今年も始まりました。

今回も衣・食・住のテーマに分けて、実際に生活で使われた道具の変遷をご紹介。主な展示品として、蚊帳や洗濯板など、電化製品が普及する前の道具をはじめ、絞り機付きの洗濯機や黒電話など、多くの家庭で使われた生活道具が並びます。

他にも、市内各所や小学校の古写真、昭和40年から50年代頃の居間の再現展示もあります。また、展示室内では、めんこやお手玉など昔の遊びを体験することも！

当時の人々の暮らしに触れることで、懐かしさや新たな発見があるかもしれません。この機会にぜひご来館ください。

期 間：令和6年9月7日(土)～
令和7年1月26日(日)

場 所：歴史博物館2階 特別展示室



X
(旧Twitter)



Instagram

考古・歴史博物館
公式SNSで情報発信中！



市川考古博物館
〒272-0837
市川市堀之内2-26-1
☎ 047-373-2202

市川歴史博物館
〒272-0837
市川市堀之内2-27-1
☎ 047-373-6351

年末年始休館日のお知らせ
12月28日(土)
～1月4日(土)
上記の期間は、休館日とさせていただきます。
あらかじめご了承ください。

【当館利用者の皆様へのお願い】

体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。
見学の際、展示ケース等の館内の物には触れないようにお願いします。

シリーズ 鬼高－真間－国分 その18 須恵器研究法の多様化(7)

―― 辻利一の土器産地同定研究は次第に課題が浮き彫りとなり、有効性に疑問が投げかけられた様子を、前々回から前回にかけて確認しました。ところが、1980年代末以降になると考古学の資料観察による分類を中軸とし、補助的に三辻の分析を取り入れる機運が芽生えてきます。

北陸地方では、須恵器窯の石川県末窯、集落遺跡では新潟県山三賀遺跡で実践例があります。三辻の蛍光X線分析結果だけを鵜呑みにせずに、考古学者自身が胎土を肉眼観察して産地を検討し、窯の製品が主に流通した範囲や他の窯で生産された製品の供給にも言及しています(出越1989、坂井 1989)。

さらに、自然科学分野だけでも三辻を含む三者に分析を依頼し、その分析結果を検証し、土器の形や製作方法、胎

土など考古学の分類手法まで合わせて、総合的に産地を判断する研究も現れます(木津ほか1992)。

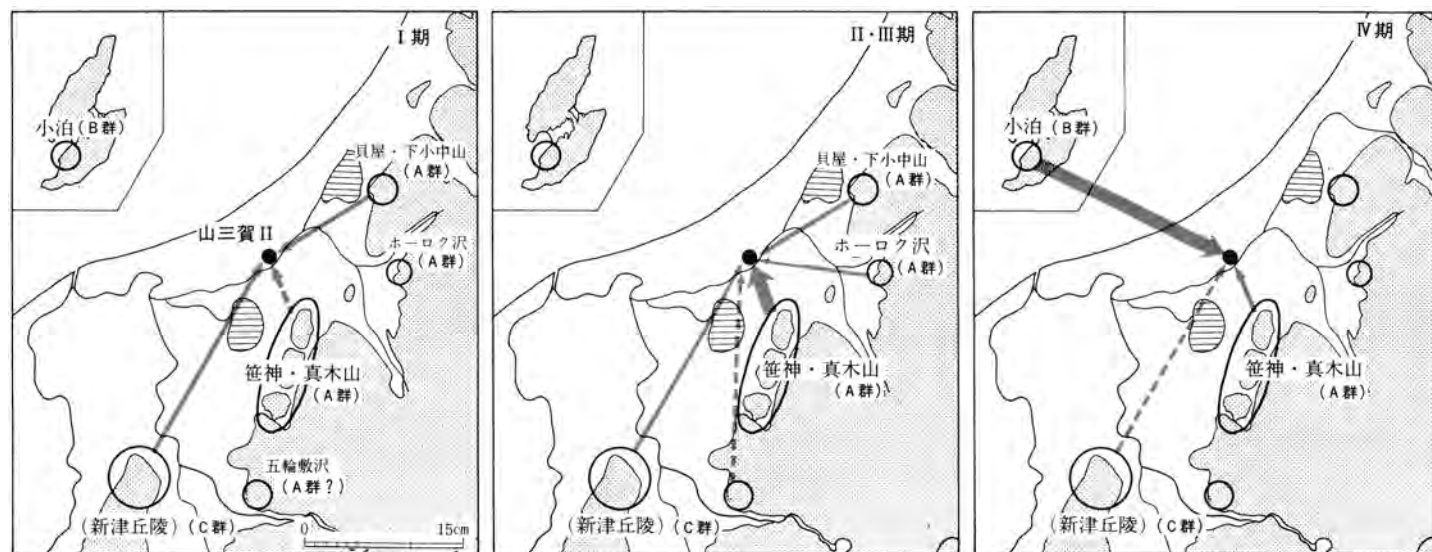
考古学と自然科学の両面から産地を推定するこれらの方法は、自然科学任せにしない、考古学自らが研究方法を見だし、検討する要素の数・分野を増やし、両者の相互活用と相互批判を促す動きであり、高く評価できます。

参考文献

木津博明ほか1992『上野国分僧寺・尼寺中間地域』(8) 群馬県埋蔵文化財調査事業団

坂井秀弥1989「山三賀II遺跡をめぐる土器の生産と流通」『新新バイパス関係発掘調査報告書』新潟県教育委員会

出越茂和1989『金沢市末窯跡群』金沢市教育委員会
(考古博物館学芸員 松本 太郎)



【図】 山三賀II遺跡 須恵器供給状況推定図

古写真絵はがきにみる市川市域⑩ －中山大本山 山門－

歴史博物館では、「中山大本山絵葉書」と記された中山法華経寺関係の14枚入りの絵葉書セットを所蔵しています。その内訳は今回紹介する山門の他に、総門(黒門)、祖師堂、五重之塔、鬼子母神堂、四足門、大玄関、荒行堂、開祖日常上人の銅像、金仏(大仏)、聖教殿、日祐上人御墓、泣銀杏、奥之院となっております。

セットの袋には「下総中山町 発行所 清華堂書店」と記され、発行時期は葉書の形態や聖教殿が含まれていたことから昭和6年(1931)から7年頃と考えられます。

発行所の清華堂書店というのは、現在は市川市の文化施設である清華園(中山4-14-1)のある場所で、京成線踏み切りから法華経寺へと続く参道の坂道を少し上がると右側に所在しています。坂道をさらに上がっていくと山門(三門・仁王門・赤門)に着き、この門は江戸時代後半にはすでに建てられており、大正年間に再建されています。

絵葉書には山門が大きく写り、その下側は六本の柱で五つに間仕切られ、中央の三ヶ所が入口で両側には仁王像が立ち、そこを通行する着物姿の参拝客の様子がわかります。また、門の上側には「正中山」という山号が書かれた扁額(本阿弥光悦筆)が掲げられています。

門前の様子もわかり、左側には火の見やぐらと佐川材木店と記された電柱のような柱と店舗があり、右側にも割烹旅館三枡家と記された同様な柱と建物が写されています。

山門から千葉街道(現国道14号)までの参道は「山門黒門通」という名称があり、旅館、材木店の他、菓子店やお土産屋などが並び、そのにぎわい振りを絵葉書から窺うことができます。

(歴史博物館学芸員 小野 英夫)



【写真】 中山大本山山門